

トイレに紫陽花を吊す謂われ?? (6/8)



歳を重ねると、民俗伝承を楽しむ余裕が沸くのか

6月6日の朝、トイレに紫陽花(アジサイ)が吊されていた(上の写真)。

家内に「何で?」と聞くと、昨夜友人から「6月の6のつく日(6日、16日、26日)にトイレに紫陽花を吊すと、トイレで倒れることがなくなるから。」とわざわざメールがあったからとか。

「理由(わけ)は?」と聞くと、「書いてなかった。」との返事。

そこで「紫陽花 トイレ」で検索して見ると、あるわあるわ、次のような色々な関連情報。

- ・トイレで脳梗塞や心臓発作で急に倒れないというより、老後に下(シモ)の病気で悩むことがなくなる。
- ・紫陽花は女性ホルモンの分泌を促す(?)から、女性特有の病気にかからないおまじないで、トイレの角に1年間吊しておく。
- ・枝でなく花を名前と生年月日、『無病息災』を書いた半紙にくるんで、紅白の水引で結んで吊す。
- ・人に気づかれずに他人の家の紫陽花の花を盗ってきて玄関の軒下に吊すと、金運がよくなる。
- ・一年間吊した紫陽花は、一年後塩でお清めをしてから、神社・お寺に供養に持っていく。紫陽花を供養してくれるお寺もある(若狭野天満神社の魔除けあじさい)。
- ・紫陽花の紫色には、緊張や不安を癒して穏やかな気分をもたらすパワーがある。
- ・紫陽花は食用にしたり料理の飾りに使うのは厳禁のように毒素があるゆえ、昔の人は紫陽花には霊力が宿るとみなして魔除けとして使った。
- ・紫陽花は色褪せることから、お見舞いや仏花にはNG。

我が家の庭には4本の紫陽花が植わっているが、紫陽花に関するこうした民俗伝承はトンと知らずにいた。

我が家の紫陽花はまだつぼみがちょっと出てきただけなので、まだ花を吊すことができないので枝を吊したのかな?? (^o^)

歳を重ねると家内や友人のように、こうした謂われをちょこっと楽しんでみよう~という気持ちの余裕が沸くのかな??(*^_^*)

追伸:6/6のブログ「デクノボ」にこのことを記したところ、あるメル友からお庭に咲く珍しい「カシワバ アジサイ」の写真(左の写真)と、「我が地は紫陽花を仏花に供えるのを嫌います。が、(日本海側の)柏崎では好んで紫陽花を供えます。土地によって、供え方も異なる花でもあります。」とわざわざ情報をくれた。

